

● ブルキナファソ避難民支援 ●

ご支援をお願いします！

- ブルキナファソでは、2015 年頃から村々への襲撃や略奪が急増しており、現在では国土の 4 割以上が武装勢力の支配下にあると見なされています。このため、国民の 1 割弱にあたる約 200 万人が居住地を追われて難民化しています。
- ブルキナファソ政府は全国 45 県中 22 県に対して「非常事態宣言」を発令しており、村々でも青年層を中心とした「祖国防衛志願兵」を組織して武装勢力に当たっていますが、現在までのところ状況を変えるには至っていません。
- 「緑のサヘル」が活動している地域の中心、コングシ市に逃げ込む村々の住民、他地域からの避難民も数を増やしつつあり、既に 6 万人を越えています。（コングシ市の本来人口は約 7 万人と目されています）
- これらの人々は市内 20 か所に設置された難民キャンプで居住していますが、食料や生活用品の不足によって困窮生活を余儀なくされています。現地では乾季が始まっており、体力低下と衛生悪化による疾病の蔓延が懸念されています（そのうち 6 割は子どもたちです）。



コングシ市内に設置された避難民キャンプの一つ。バラックもあればテントもあります。



配給された食料を料理する女性。しかし、その量は充分とは言えません。



避難民キャンプに設置された井戸には、毎日女性たちが殺到します。



避難民キャンプの子供たち。後ろに見える黒いテントに寝泊まりしています。

- 日本政府は、ブルキナファソの中央部を除くほとんどの地域を最も危険度の高い「退避勧告」（退避して下さい。渡航は止めて下さい。）地域に指定しており、公的な支援も届きにくい状況が続いています。
- 「緑のサヘル」は現地 NGO である AJPEE（環境畜産保全青年協会）と協力し、避難民と生活困窮者を対象とした炊き出しや、食料の配布を始めていますが、資金的な問題のため十分な活動が行なえていません。



当団体から送られたご寄付は食料となり、AJPEE によって避難民に届けられます。



食料の配布は、家族の人数と健康状態を調べ、緊急性が高い家庭を優先しています。

皆様からのご寄付を募っています！

ご寄付の振込先

郵便振替口座 00120 - 7 - 419488 緑のサヘル

※ニュースレターに振込用紙が同封されている場合は、そのままご利用いただけます。